

6人の任命 要求継続へ

学術会議総会 新会長に光石衛氏

を見送った日本学術会議法改悪案か、独立法人化かの、二者択一の狭い議論に終始しないよう要望しています。

梶田隆章・前会長は総会の返任あいさつで、設置形

態の問題は学術会議の将来

を決める極めて重大な問題

だと強調。「日本の学術の

ため、しっかりした対応を

お願いしたい」と述べまし

た。

の任命を拒否。岸田文雄首

相もこの任命拒否を撤回し

ておらず、今期も6人欠員

でのスタートになります。

光石新会長は就任あいさ

つで、任命問題や学術会議

の組織のあり方をめぐり

「大変な時期だ」とし、学

術会議が本来やるべき情報

発信を積極的に推進したい

と述べ、会員に協力を訴え

ました。同氏は総会后、記

書団に対し、任命拒否され

ている6人の任命を求める

前期の方針は「変わらない」

として「言うべきことを言

っていく」と述べました。

日本学術会議は2日、今

期(2023年10月〜26年

9月末)初の総会を東京都

内で開き、会員の互選で、

新会長に大学改革支援・学

位授与機構理事の光石衛

東京大学名誉教授を選出し

ました。

↓関連②面

学術会議の会員定数は2

10人。会員の任期は6年

で、3年ごとに半数が新た

に選出されます。新会員を

選挙するのは学術会議で、

首相が形式的に任命しま

す。20年に始まった前期は、

当時の菅義偉首相が、10

5人の会員候補のうち6人